

## 愛媛県がん診療連携協議会 令和元年度第1回PDCA部会 議事録

日時：2019年7月16日（土）18：30～20：00

場所：四国がんセンター 地域医療連携研修センター

研修室①②

### 1. 開会挨拶 四国がんセンター 山下素弘

本日は、お忙しい中お集まり頂きありがとうございます。第1回目のPDCA部会として、東京大学からPDCA改善ツールを開発して頂いた水流研究室から講師として谷崎先生をお迎えし、使い方等を含めた講演を聴いて頂いた後、当院の小島より具体的な使い方のノウハウについてご案内ができればと思っております。なお本日は、演習も予定させて頂いており、その時間帯も含めて水流班の改善ツールの使い方慣れて頂き、習得して頂いたことを施設に持ち帰り頂いて、ご活用頂ければと思っております。

### 2. 各施設自己紹介、データの確認

各施設の幹部の先生と、実務担当の診療情報担当者の2名ずつのメンバーによる自己紹介をおこなった。水流班から提供された各施設専用の改善ツールを確認した。

### 3. PDCAの説明 四国がんセンター 青儀健二郎

PDCA部会設立の経緯についておさらい。PDCA部会は、愛媛県がん対策推進基本計画にもうたわれているように、愛媛県全体でがん診療の更なる向上を目指してPDCA(Plan→Do→Check→Act)サイクルを確保し、改善につなげていくことを目標とする。PDCA部会の設立は、昨年7月からの提案であったが、今年4月25日の幹事会で正式に決定し、今回、第1回PDCA部会として開催される運びとなった。

がん診療の質を改善していくしくみとしては、診療の質評価、東京大学水流班、国立がん研究センター東班、日本緩和医療学会の緩和ケアチームセルフチェックプログラム、相互訪問評価等、さまざまなQuality Indicator (QI) があるが、具体的な活動としては、

- 1) さまざまなQIを駆使してPDCAサイクルの確保をおこない、部会で情報共有をしながら改善につなげていく。
- 2) 連携病院間におけるピアレビューを実施する。
- 3) 先進地域から講師を招き、情報共有をおこなう。
- 4) 国立がん研究センターを中心としたPDCA活動報告会に参画する。全国にも我々の情報を発信していく。

今回は水流班のツールを共通指標として活動を開始するが、今後は、施設で設定された指標で愛媛県の指標としても活用できるものがあるかなどの検討も加え、将来的

には愛媛県の共通目標としての指標を設定していくことも目指す。なお次回12月7日の協議会においては、情報共有の時間を設けて頂いているので、いまから5ヶ月の間に各施設で取り組みをおこなった活動内容について、発表をお願いした。

#### **4. 水流班のPDCA改善ツールに関する講演および実習指導**

##### **東京大学大学院工学系研究科 谷崎浩一先生**

2018年末に参加各施設から水流班に提出して解析済みの、診療の質調査に対する各施設専用の改善ツールを用いて、その見方、検討の方法、例えば各項目毎に解析結果が点数（適合率）やグラフで表示されるので、何が完遂できていないために適合率が低いのか、同じ調査をしている他施設との比較はどうか、等の整理、検討の仕方について解説をおこなって頂いた。なお、問題点の原因と改善案をひとつひとつの項目毎に検討していく方法もあるが、同じような内容をグルーピングして検討していく方法もある。また、いつからいつまでの間にそのタスクをどのようなスケジュールで実施するか、進捗を管理できるGantt chartも表示されるので、それらも使用して、計画を立てて改善につなげていく。

#### **5. 改善ファイルの使用例 四国がんセンター・大腸 四国がんセンター 小嶋誉也**

水流班の、四国がんセンター専用の改善ツールを用いて、具体的に項目を取り挙げてその適合率やグラフを示し、診療科内で検討した改善案および改善の流れについて紹介した。

#### **6. 各施設調査ファイル、改善ツールの活用（実習）**

各施設から持参したパソコンに、水流班の、施設毎の専用の改善ツールを登録し、講師の谷崎先生に指導して頂きながら実際に動かしてみて使い方を習得した。

#### **7. 今後の展開 四国がんセンター 寺本典弘**

2018年末の調査では共通して大腸の改善ツールを作成した。本日の講義および演習でその大腸の改善ツールの使い方を習得したので、12月7日の報告会までの間にこの領域での改善計画を立てて頂き、その内容についての各施設からの発表をお願いした。また、各専門部会へも、PDCAサイクルの紹介をお願いした。

東班からQI調査の依頼がきているので協力して頂きたい。来年は東班のデータも使用して部会の活動をおこなう。なお水流班においては、今後は大腸以外の臓器についても共通して検討をおこなっていく。また、愛媛県全体で共通して使用できるような指標の提案があれば、部会へのご連絡をお願いしたい。

#### 8. 閉会挨拶 四国がんセンター 谷水正人

PDCA部会は始まったばかりで、模索しながらも、愛媛県としてまとめていかねばなりませんので、皆様よろしくお願い致します。

12月には、またPDCAのお話ができることを楽しみにしております。